一般社団法人 溶接学会 溶接技術奨励賞受賞
九州工業大学大学院生命体工学研究科 特任教授 中野光一氏

於：（一社）溶接学会 第 84 回通常総会，溶接学会九州支部

＜Kouichi Nakano received a prize for encouragement of welding technique from JWS＞

九州工業大学生命体工学研究科へ出向中の中野光一氏が（一社）溶接学会溶接技術奨励賞を受賞し，2016 年 4 月 13 日（水）に開催された（一社）溶接学会第 84 回通常総会で披露され，2016 年 7 月 9 日（土）に開催された（一社）溶接学会九州支部総会において，溶接技術奨励賞の受賞式が行われましたので，以下に紹介いたします.

1. 溶接技術奨励賞

溶接技術奨励賞は，溶接・接合技術に関する研究・開発・改良あるいはその実用化の功績が顕著であると認められた方に対して，（一社）溶接学会から授与される賞です.

2. 功績概要

中野光一氏は，溶接構造を有する各種プラント設備の損傷防止対策に関する研究・開発において種々の貢献を行ってきました．例えば，オーステナイト系ステンレス鋼溶接止端部の海塩粒子等による腐食損傷とその対策に関する検討をはじめ，配管系におけるすみ肉溶接部の疲労特性を検討し，ソケットすみ肉溶接部の片振り軸力引張疲労試験等により，疲労強度に及ぼす溶接法，溶接材料，止端部の形状，及び初層溶接部の影響，さらに臨界寸法，許容応力について指標を設定し，疲労損傷防止対策を講じました．また，海外においても，イランにおける石油精製プラントでは，長期間放置による溶接部等の経年劣化調査を行うとともに，補修・保全の立案を実施しました．クウエートにおける多段フラッシュ式造水プラント建設工事においては，現地において耐海水材料として使用されたキュプロニッケル及び同クラッド鋼の溶接主任技術者として従事しました．中国では，現地に進出した日本企業が建設したチタンクラッド鋼製蒸留塔腐食損傷部の補修溶接の現地技術指導や再発防止対策の検討を実施しました.

同氏は，研究開発活動においても積極的に貢献しており，高窒素ステンレス鋼溶接部の脱窒素による損傷防止のため，レーザ溶接，スポット溶接，スタッド溶接を適用した短時間溶接の検討を行い，実施工法の確立に取り組みました．他方，溶接接合が困難な異種材料の溶接施工に寄与するため，傾斜機能材料による異種材料管継手等を考案し，数件の特許も取得しました．また，溶接学会の全国大会や九州支部研究発表会において学会活動にも貢献するとともに，材料・溶接技術に関する大学教育ならびに産業界における教育活動においても国際協力事業団（JICA）や北九州国際技術協力協会（KITA）の種々の研修コースで溶接技術に関する講師を務めるなど積極的に貢献しており，福岡県技術アドバイザーとしても溶接技術の普及促進に努めました.

賞状

中野光一 殿

あなたは永年にわたり溶接技術の開発研究に尽力し多大の成果を上げ溶接界の発展に貢献されました ここに溶接技術奨励賞を贈呈しその功績を讃えます

平成二十八年四月一日

一般社団法人溶接学会九州支部
支部長 西尾一政

九州支部長の表彰に基づき副賞を贈呈し益々のご活躍を期待いたします

平成二十八年四月一日

一般社団法人溶接学会
会長 粉川博之

平成 28 年度（一社）溶接学会九州支部総会における溶接技術奨励賞贈呈の様子